学校番号	3027

令和８年度　教育文理科

教科	教育文理	科目	教育探究Ⅲ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	一生使える探究のコツ　入門編（トモノカイ）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「よりよい学校、よりよい世の中をめざして、自分は何ができるか」という問いを探究することがこの授業の大きな目標です。具体的には、教育探究Ⅱの内容をより実践的に発展させ、実社会や実生活における課題を解決する活動を行います。
・「学び、（他者に）教え、（学び教えることを通じて）自ら育つ」という視点で、現在の社会的環境やその要因に対する興味を深め、より深い知識や概念を応用する方法を習得し、情報を分析して得た新たな発想と着眼点を発表する活動を行います。
・仲間との対話を通して深く考える態度、協働的な場を運営する力を身につけていきましょう。

2　学習の到達目標

教育に携わるための探究の見方・考え方を働かせ、実社会や実生活における課題を解決する活動を通して、よりよく課題を発見し、解決していくための基礎となる資質・能力を発展させて活用する力を次のとおり育成することをめざす。

（１）教育に関わる探究の過程において、「学び、（他者に）教え、（学び教えることを通じて）自ら育つ」という視点で、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解することができる。

（２）教育と自己の関わりから問いを見出し、その解決に向けて仮説を立て、調査から得た情報を分析して、論理的にまとめ・表現する力を養う。また、聴衆の理解度に合わせて自分の考えを適切に表現する力を養う。

（３）自己のあり方生き方を深く考え、自発的に他者との協働の場を作り、互いの特性を高めることができるようにする。また、多様性や異なる価値を尊重し理解し合う姿勢を身につけ、社会や地域に貢献しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・事実的知識から自らの問いを生み出し、それに関する新たな知識を獲得できる。 ・収集した知識を「教育」という視点から新しい知識として自らの学びに活かし、体系的に理解することができる。 ・手法を正しく理解し、自らの特性を活かした発想の効果を予測することができる。	・聴衆の理解度に合わせて、自らの考えを効果的で適切な方法で発表を行うことができる。 ・情報を取捨選択し、新たな発見と主張が生まれる問いを立てることができる。 ・客観的な根拠を見直し、根拠を支えるデータや資料を示しながら説明することができる。	・意見が違う他者の立場に進んで立ち、その発想や根拠を把握することができる。 ・客観的な視点から身の回りの出来事と自己を関連付けて俯瞰する態度が身についている。 ・自ら進んで他者と繋がり、互いの特性を高め合う協働作業を行うことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	研究報告作成	・論文の書き方を学ぶ。(大学連携) ・優れた論文を分析する。(グループ) ・仮説を立てる。	a:探究手法を理解し、諸課題の現状を把握している。 b:自ら問いを見出し、多面的・多角的な視点や考え方を用いて仮説を立てることができる。 c:探究課題の設定や計画に主体的・協働的に取り組んでいる。	観察 発表	観察 発表	観察 ポートフォリオ
		・観察・実験・調査、文献やインターネットを利用した情報を収集する。 ・仮説を検証するためのデータを収集する。 ・中間報告会でテーマと仮説を発表する。	a:課題解決に向けた情報を異なる視点から収集する技能を身につけている。 b:仮説を検証するデータとして妥当かどうか判断することができる。 c:情報の収集に主体的・協働的に取り組んでいる。	課題制作 発表	課題制作 発表	観察 ポートフォリオ
2		・観察・実験・調査や収集した情報を整理・分析し、仮説の検証・考察を実施する。 ・中間報告会でのフィードバックを踏まえ、情報を精査し、改善を図る。 ・研究の概要を書く。 ・研究報告書を完成させる。	a:仮説の検証に必要な情報を整理・分析するための知識・技能を身に付けている。 b:情報の整理・分析を通して、仮説を検証し、論理的に分析している。 c:情報の整理・分析に主体的・協働的に取り組んでいる。	課題制作	課題制作	観察 ポートフォリオ
	研究成果発表	・研究についてのスライドを作成する。 ・スライドを使ってクラス発表を行う。 ・意見交換と相互評価をする。 (大学連携) ・全体発表でスライド発表を行う。 (後輩指導も兼ねる)(大学連携)	a:発表のまとめ・表現を通して、探究に必要な知識・技能を認識するとともに、諸課題に関する知識を身に付けている。 b:諸問題の現状に対して多面的・多角的な視点から考察し、表現している。 c:発表に対して主体的・協働的に取り組み、自己と社会とのつながりを意識したうえでよりよい社会に貢献するための態度を身に付けている。	スライド 発表 観察	スライド 発表 観察	観察 相互評価 ポートフォリオ

3	応用と実践	・ビブリオバトル等の活動を通して、自分の経験をもとに「教育」に関わる事柄について、より深く考察する。 ・お互いの発表を聞き、「教育」という観点からお互いに自分の意見や考察を伝える。 ・全体発表を通して、活動全体の成果を認識する。	a:「教育」という視点から調査した結果や考察を発表する技法を身に着けている。 b:自分たちの発表や意見を整理・分析することによって論理的に表現している。 c:他者の意見や異なる価値観を尊重することができる。	プレゼン 課題制作 レポート	プレゼン 課題制作 レポート	課題制作 ポートフォリオ 観察
	三年間のまとめ	・自らの3年間での「学び」「育ち」をポスターにまとめる。 ・3年間のポスターを並べて、発表する。 ・学年発表を行い、意見交換し、講評を受ける。(大学連携)	a:発表のまとめ・表現を通して、必要な知識・技能を認識するとともに、ポスター発表の意義や価値を理解している。 b:３年間の「学び」に対して多面的・多角的な視点で考察、表現している。 c:発表に対して主体的・協働的に取り組み、自己と社会とのつながりを意識したうえでよりよい社会に貢献するための態度を身に付けている。	ポスター 発表 観察 ポートフォリオ	ポスター 発表 観察 ポートフォリオ	観察 ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度